

# 葉付きタマネギ出番

## 三重・伊勢・産地復活に意欲

【三重・伊勢】JA伊勢は3日、葉付きタマネギの出荷を始めた。2023年度から産地復活に向けて取り組みを始めた品目で、本年度は1000袋（1袋254玉入り）の出荷を目指す。

JA管内の志摩市では、温暖な気候を生かす。

初日は118袋が出荷され、担当者が玉のそろいを確認しながら集荷作業を行った。出荷目ぞろえ会も同時に開催。JA全農みや市場関係者ら15人が参加し、市場や産地情勢についての説明を聞き、出荷資材や規格などを確認した。

担当者は「圃場（ほじょう）巡回を通して生産者らと情報交換を重ねるうちに、生産者の土気が高まっている。今後出荷量を増やしていきたい」と話す。

2月中は葉付きタマネギ、3月以降はネットタマネギとして出荷を続けていく。

やしていき、タマネギ産地としての志摩をもっと広く知ってもらいたい」と話す。



出荷規格などについて説明する担当者（左）